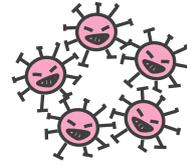


# 感染症に気をつけよう!

2018年【4月号】

## 横浜市内の感染症 流行状況



感染症*	流行状況		説明 <small>【解説付き既刊号】</small> ← <small>クリック</small>
<u>インフルエンザ**</u>	 流行	 減少	3月上旬に警報は解除されましたが、まだ、流行は継続しています。注意しましょう。【'18.3号】
<u>A型肝炎*</u>	 散発	 やや増加	ウイルスに汚染された食品等から感染しますが、性的接触による報告が増えています。【'14.4号】

## 今、気をつけたい感染症 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### 流行の様子は ...

- 去年の11月頃から増加傾向になり、いつもの年に比べて、報告数が多い状態が続いています。
- 例年の流行では、【冬】と【春から初夏にかけて】の2つのピークがみられるため、これから注意が必要です。

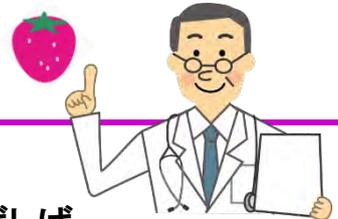


写真1. 典型的な莓舌

\*

### 症状と治療は ...

- 急な発熱・のどの痛み・全身倦怠(けんたい)感で始まり、しばしば嘔吐を伴います。舌が赤くブツブツして、イチゴのようになることがあります。
- 治療には抗生物質を使います。途中で服用を止めてしまうと、リウマチ熱や腎炎などの合併症を起こす場合があります。薬は医師の指示通りに、最後まで飲み切ってください。



### 予防のためには ...

- この感染症の原因となる細菌【A群溶血性レンサ球菌】は、患者ののどからの分泌物等に含まれています。
- 予防には\*患者との濃厚接触を避けることが最も重要です。うがい・手洗い\*\*もしっかり行いましょう。



参考ホームページ

\*: 国立  
感染症研究所  
\*\*: 厚生労働省

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課 【横浜市感染症情報センター】

